

虫食い算（分数のかけ算）①

小6／分子・分母の□に入る数を見つける6もん

なまえ _____

ひづけ _____

$$\frac{2}{\boxed{3}} \times \frac{\boxed{5}}{7} = \frac{10}{21}$$

やりかた 分子どうし・分母どうしをかける式。れいの□は、わり算で求める

① 分子どうし $2 \times \square = 10 \rightarrow \square$ は $10 \div 2 = 5$

② 分母どうし $\square \times 7 = 21 \rightarrow \square$ は $21 \div 7 = 3$

きまり

- ・ □には1～9の数が1つ入る
- ・ かけられる数・かける数は、約分できない真分数（分子が分母より小さい）
- ・ 答えは約分した分数

□に1～9の数を1つずつ書こう。書けたら下のらんで、分子どうし・分母どうしをかけてたしかめよう。

A 分子どうし・分母どうしのかけ算を、わり算でもどそう _____

A1 $\frac{\square}{7} \times \frac{8}{\square} = \frac{40}{63}$

A2 $\frac{4}{9} \times \frac{\square}{\square} = \frac{8}{27}$

たしかめ（分子どうし・分母どうしをかける）

たしかめ（分子どうし・分母どうしをかける）

B 答えにも□がある。かけ算で先に決まる□から書こう _____

B1 $\frac{4}{\square} \times \frac{2}{3} = \frac{\square}{21}$

B2 $\frac{2}{9} \times \frac{4}{\square} = \frac{\square}{45}$

たしかめ（分子どうし・分母どうしをかける）

たしかめ（分子どうし・分母どうしをかける）

C かけ合わせる2つが両方□。組を書き出して、きまりでしぼろう _____

C1 $\frac{\square}{5} \times \frac{\square}{7} = \frac{24}{35}$

C2 $\frac{7}{\square} \times \frac{1}{\square} = \frac{7}{18}$

たしかめ（分子どうし・分母どうしをかける）

たしかめ（分子どうし・分母どうしをかける）

たしかめの答えが問題の答えと同じになれば、□の数はあっている。

ちがったら、分子の行・分母の行を1つずつ見なおそう。



虫食い算（分数のかけ算）②約分あり

小6／約分してある答えから□をもどす6もん

なまえ _____

ひづけ _____

$$\frac{3}{4} \times \frac{\boxed{6}}{7} = \frac{9}{14}$$

やりかた 答えは約分してある。約分する前の分数にもどしてから、わり算でもどす

① □の無い行 分母どうし $4 \times 7 = 28$ 。答えの分母14を28にするには2倍

② 答えの分子も2倍 $9 \times 2 = 18$ 。 $3 \times \square = 18 \rightarrow \square$ は $18 \div 3 = 6$

③ 分数まるごと□は、答えの分子・分母に同じ数をかけて、見えている分子・分母でわり切れる形にする

④ 答えが□のときは、分子どうし・分母どうしをかけてから約分する

きまり ・ □には1～9の数が1つ入る

・ かけられる数・かける数は、約分できない真分数（分子が分母より小さい）

・ 答えは約分した分数

答えは約分してあります。約分する前の分数にもどしてから、□を書こう。

答えが□のときは、かけてから約分しよう。

A □が1つ。□の無い行に答えをそろえて、わり算でもどそう _____

A1 $\frac{3}{8} \times \frac{\boxed{}}{9} = \frac{1}{6}$

A2 $\frac{5}{\boxed{}} \times \frac{2}{5} = \frac{1}{4}$

たしかめ（□に入れた数でかけて、約分する）

たしかめ（□に入れた数でかけて、約分する）

B 分数まるごと□。答えに同じ数をかけて、わり切れる形にもどそう _____

B1 $\frac{\boxed{}}{\boxed{}} \times \frac{5}{9} = \frac{5}{21}$

B2 $\frac{7}{8} \times \frac{\boxed{}}{\boxed{}} = \frac{3}{4}$

たしかめ（□に入れた数でかけて、約分する）

たしかめ（□に入れた数でかけて、約分する）

C 答えが□。分子どうし・分母どうしをかけてから約分しよう _____

C1 $\frac{3}{5} \times \frac{5}{6} = \frac{\boxed{}}{\boxed{}}$

C2 $\frac{2}{7} \times \frac{7}{9} = \frac{\boxed{}}{\boxed{}}$

たしかめ（□に入れた数でかけて、約分する）

たしかめ（□に入れた数でかけて、約分する）

たしかめで約分した答えが、問題の答えと同じなら□の数はあっている。



虫食い算（分数のわり算）③

小6／わる数の□を逆数で決める6もん

なまえ _____

ひづけ _____

$$\frac{2}{5} \div \frac{\boxed{3}}{\boxed{4}} = \frac{8}{15}$$

やりかた わる数を逆数にしてかける。わる数の□は上下が入れかわる

① 逆数にしてかける $\frac{2}{5} \div \frac{3}{4} = \frac{2}{5} \times \frac{4}{3} = \frac{8}{15}$

② 分子どうし $2 \times (\text{わる数の分母}) = 8 \rightarrow \text{わる数の分母は } 8 \div 2 = 4$

③ 分母どうし $5 \times (\text{わる数の分子}) = 15 \rightarrow \text{わる数の分子は } 15 \div 5 = 3$

きまり

- ・ □には1～9の数が1つ入る
- ・ わられる数・わる数は、約分できない真分数（分子が分母より小さい）
- ・ 答えは約分した分数（1より大きい仮分数のこともある）

わる数を逆数にして、かけ算の形に直してから□を決めよう。わる数の□は上下が入れかわるよ。

A わる数の□が2つ。逆数にすると、上下が入れかわる

A1 $\frac{5}{8} \div \frac{\boxed{}}{\boxed{}} = \frac{35}{32}$

A2 $\frac{4}{9} \div \frac{\boxed{}}{\boxed{}} = \frac{28}{27}$

たしかめ（わる数を逆数にしてかける）

わる数の逆数 $\rightarrow \frac{\boxed{}}{\boxed{}}$

たしかめ（わる数を逆数にしてかける）

わる数の逆数 $\rightarrow \frac{\boxed{}}{\boxed{}}$

B わられる数とわる数に□。逆数にしてから、分子どうし・分母どうし

B1 $\frac{\boxed{}}{6} \div \frac{\boxed{}}{5} = \frac{25}{12}$

B2 $\frac{4}{\boxed{}} \div \frac{5}{\boxed{}} = \frac{36}{25}$

たしかめ（わる数を逆数にしてかける）

たしかめ（わる数を逆数にしてかける）

C 答えとわる数に□。逆数にしてかけると、答えの□はかけ算で決まる

C1 $\frac{2}{7} \div \frac{\boxed{}}{4} = \frac{\boxed{}}{21}$

C2 $\frac{2}{3} \div \frac{3}{\boxed{}} = \frac{16}{\boxed{}}$

たしかめ（わる数を逆数にしてかける）

たしかめ（わる数を逆数にしてかける）

たしかめの答えが問題の答えと同じなら、□の数はあっている。



虫食い算（帯分数のかけ算）④

小6／帯分数を仮分数に直して□を決める6もん

なまえ _____

ひづけ _____

やりかた 帯分数は仮分数に直してから考える。答えも仮分数に直す

$$\boxed{2} \frac{1}{3} \times \frac{3}{4} = 1 \frac{3}{4}$$

$$\textcircled{1} \text{ 答え} \div \text{かける数} \quad 1 \frac{3}{4} \div \frac{3}{4} = \frac{7}{4} \times \frac{4}{3} = \frac{28}{12} = \frac{7}{3}$$

② 分子7を分母3でわると 2あまり1 → 2と3分の1。整数の部分の□は 2

- きまり**
- ・ □には1～9の数が1つ入る
 - ・ 帯分数の分数の部分・かける数は、約分できない真分数
 - ・ 答えは約分した帯分数

帯分数を仮分数に直してから□を考えよう。整数の部分の□も、仮分数の分子から決まるよ。

A 整数の部分が□。仮分数の分子から決まる

$$A1 \quad \boxed{} \frac{2}{9} \times \frac{5}{8} = 1 \frac{7}{18}$$

$$A2 \quad \boxed{} \frac{7}{8} \times \frac{2}{5} = 1 \frac{11}{20}$$

たしかめ（帯分数を仮分数に直してかける）

たしかめ（帯分数を仮分数に直してかける）

B 整数の部分と分子が□。仮分数の分子を分母でわった商とあまり

$$B1 \quad \boxed{} \frac{\boxed{}}{7} \times \frac{2}{3} = 1 \frac{17}{21}$$

$$B2 \quad \boxed{} \frac{\boxed{}}{4} \times \frac{5}{6} = 3 \frac{23}{24}$$

たしかめ（帯分数を仮分数に直してかける）

たしかめ（帯分数を仮分数に直してかける）

C かける数に□。答え÷帯分数（仮分数に直す）でもどす

$$C1 \quad 2 \frac{3}{8} \times \frac{\boxed{}}{9} = 1 \frac{1}{18}$$

$$C2 \quad 3 \frac{3}{5} \times \frac{7}{\boxed{}} = 2 \frac{4}{5}$$

たしかめ（帯分数を仮分数に直してかける）

たしかめ（帯分数を仮分数に直してかける）

たしかめの答えが問題の答えと同じなら、□の数はあっている。



虫食い算（かけ算・わり算）⑤しあげ

小6／かけ算・わり算をまぜた6もん

なまえ _____

ひづけ _____

きまり

- ・□には1～9の数が1つ入る
- ・式の中の分数は、約分できない真分数（帯分数は分数の部分）
- ・答えは約分した分数（帯分数の式の答えは帯分数）

かけ算・わり算がまざっています。どの□から決められるかを自分でさがしてから書こう。

$$1 \quad \frac{7}{9} \div \frac{\square}{\square} = \frac{35}{36}$$

$$2 \quad \frac{2}{5} \times \frac{2}{\square} = \frac{\square}{35}$$

たしかめ（□に入れた数で計算する）

たしかめ（□に入れた数で計算する）

$$3 \quad \square \frac{6}{7} \times \frac{3}{5} = 1\frac{5}{7}$$

$$4 \quad \frac{\square}{\square} \times \frac{4}{9} = \frac{4}{21}$$

たしかめ（□に入れた数で計算する）

たしかめ（□に入れた数で計算する）

$$5 \quad \frac{\square}{9} \times \frac{\square}{3} = \frac{16}{27}$$

$$6 \quad \frac{2}{9} \div \frac{\square}{4} = \frac{\square}{27}$$

たしかめ（□に入れた数で計算する）

たしかめ（□に入れた数で計算する）

たしかめの答えが問題の答えと同じになれば、□の数はあっている。

かけ算かわり算か、帯分数があるかを、式ごとに先に見よう。



虫食い算（分数のかけ算）①【こたえ】

小6／分子・分母の□に入る数を見つける6もん

なまえ _____

ひづけ _____

$$\frac{2}{\boxed{3}} \times \frac{\boxed{5}}{7} = \frac{10}{21}$$

やりかた 分子どうし・分母どうしをかける式。れいの□は、わり算で求める

① 分子どうし $2 \times \square = 10 \rightarrow \square$ は $10 \div 2 = 5$

② 分母どうし $\square \times 7 = 21 \rightarrow \square$ は $21 \div 7 = 3$

きまり

- ・ □には1～9の数が1つ入る
- ・ かけられる数・かける数は、約分できない真分数（分子が分母より小さい）
- ・ 答えは約分した分数

□に1～9の数を1つずつ書こう。書けたら下のらんで、分子どうし・分母どうしをかけてたしかめよう。

A 分子どうし・分母どうしのかけ算を、わり算でもどそう

$$A1 \quad \frac{\boxed{5}}{7} \times \frac{8}{\boxed{9}} = \frac{40}{63}$$

$$A2 \quad \frac{4}{9} \times \frac{\boxed{2}}{\boxed{3}} = \frac{8}{27}$$

たしかめ（分子どうし・分母どうしをかける）

$$\frac{5 \times 8}{7 \times 9} = \frac{40}{63} \quad \text{答えと同じ}$$

たしかめ（分子どうし・分母どうしをかける）

$$\frac{4 \times 2}{9 \times 3} = \frac{8}{27} \quad \text{答えと同じ}$$

B 答えにも□がある。かけ算で先に決まる□から書こう

$$B1 \quad \frac{4}{\boxed{7}} \times \frac{2}{3} = \frac{\boxed{8}}{21}$$

$$B2 \quad \frac{2}{9} \times \frac{4}{\boxed{5}} = \frac{\boxed{8}}{45}$$

たしかめ（分子どうし・分母どうしをかける）

$$\frac{4 \times 2}{7 \times 3} = \frac{8}{21} \quad \text{答えと同じ}$$

たしかめ（分子どうし・分母どうしをかける）

$$\frac{2 \times 4}{9 \times 5} = \frac{8}{45} \quad \text{答えと同じ}$$

C かけ合わせる2つが両方□。組を書き出して、きまりでしぼろう

$$C1 \quad \frac{\boxed{4}}{5} \times \frac{\boxed{6}}{7} = \frac{24}{35}$$

$$C2 \quad \frac{7}{\boxed{9}} \times \frac{1}{\boxed{2}} = \frac{7}{18}$$

たしかめ（分子どうし・分母どうしをかける）

$$\frac{4 \times 6}{5 \times 7} = \frac{24}{35} \quad \text{答えと同じ}$$

たしかめ（分子どうし・分母どうしをかける）

$$\frac{7 \times 1}{9 \times 2} = \frac{7}{18} \quad \text{答えと同じ}$$

丸つけのめやす・声かけ

□が2つとも合っていれば正解。たしかめのらんは書かなくてもよい。

C1は分子の24の組（3と8）（4と6）（6と4）（8と3）のうち、真分数になるのは（4と6）だけ。

C2は分母の18の組（2と9）（3と6）（6と3）（9と2）のうち、真分数になるのは（9と2）だけ。

止まっていたら「真分数は、分子と分母のどちらが大きい？」と聞いてください。

虫食い算（分数のかけ算）②約分あり【こたえ】

なまえ _____

小6／約分してある答えから□をもどす6もん

ひづけ _____

丸つけのめやす・声かけ

□が全部合っていれば正解。たしかめのらんは書かなくてもよい。

A1: 分母どうし $8 \times 9 = 72$ 、答えを12倍して72分の12 → □は $12 \div 3 = 4$

A2: 分子どうし $5 \times 2 = 10$ 、答えを10倍して40分の10 → □は $40 \div 5 = 8$

B1: 答えを3倍して63分の15 → $15 \div 5 = 3$ 、 $63 \div 9 = 7$

B2: 答えを14倍して56分の42 → $42 \div 7 = 6$ 、 $56 \div 8 = 7$

C（かけてから約分）：C1 30分の15を15でわって2分の1・C2 63分の14を7でわって9分の2。

止まっていたら「答えの分子と分母に、同じ数をかけてみよう」と声をかけてください。

答えは約分してあります。約分する前の分数にもどしてから、□を書こう。

答えが□のときは、かけてから約分しよう。

A □が1つ。□の無い行に答えをそろえて、わり算でもどそう _____

$$A1 \quad \frac{3}{8} \times \frac{\boxed{4}}{9} = \frac{1}{6}$$

$$A2 \quad \frac{5}{\boxed{8}} \times \frac{2}{5} = \frac{1}{4}$$

たしかめ（□に入れた数でかけて、約分する）

$$\frac{3 \times 4}{8 \times 9} = \frac{12}{72} = \frac{1}{6} \quad \text{答えと同じ}$$

たしかめ（□に入れた数でかけて、約分する）

$$\frac{5 \times 2}{8 \times 5} = \frac{10}{40} = \frac{1}{4} \quad \text{答えと同じ}$$

B 分数まるごと□。答えに同じ数をかけて、わり切れる形にもどそう _____

$$B1 \quad \frac{\boxed{3}}{\boxed{7}} \times \frac{5}{9} = \frac{5}{21}$$

$$B2 \quad \frac{7}{8} \times \frac{\boxed{6}}{\boxed{7}} = \frac{3}{4}$$

たしかめ（□に入れた数でかけて、約分する）

$$\frac{3 \times 5}{7 \times 9} = \frac{15}{63} = \frac{5}{21} \quad \text{答えと同じ}$$

たしかめ（□に入れた数でかけて、約分する）

$$\frac{7 \times 6}{8 \times 7} = \frac{42}{56} = \frac{3}{4} \quad \text{答えと同じ}$$

C 答えが□。分子どうし・分母どうしをかけてから約分しよう _____

$$C1 \quad \frac{3}{5} \times \frac{5}{6} = \frac{\boxed{1}}{\boxed{2}}$$

$$C2 \quad \frac{2}{7} \times \frac{7}{9} = \frac{\boxed{2}}{\boxed{9}}$$

たしかめ（□に入れた数でかけて、約分する）

$$\frac{3 \times 5}{5 \times 6} = \frac{15}{30} = \frac{1}{2} \quad \text{答えと同じ}$$

たしかめ（□に入れた数でかけて、約分する）

$$\frac{2 \times 7}{7 \times 9} = \frac{14}{63} = \frac{2}{9} \quad \text{答えと同じ}$$

虫食い算（分数のわり算）③【こたえ】

小6／わる数の□を逆数で決める6もん

なまえ _____

ひづけ _____

丸つけのめやす・声かけ

□が全部合っていれば正解。たしかめのらんは書かなくてもよい。

わる数の分母の□は答えの分子から、わる数の分子の□は答えの分母から決まる（6問とも）。

÷をかけ算と同じに読むと、6問とも□が合わない。

Cの答えの□はかけ算で決まる：C1 $2 \times 4 = 8$ ・C2 $3 \times 3 = 9$ 。

答えが1より大きい（仮分数の）問題：A1・A2・B1・B2・C2。

A1・A2は、逆数のマスの数を□にそのまま書いていないかを見てください。

止まっていたら「わる数をひっくり返すと、どの□が分子の行に来るかな？」と聞いてください。

わる数を逆数にして、かけ算の形に直してから□を決めよう。わる数の□は上下が入れかわるよ。

A わる数の□が2つ。逆数にすると、上下が入れかわる

$$A1 \quad \frac{5}{8} \div \frac{\boxed{4}}{\boxed{7}} = \frac{35}{32}$$

$$A2 \quad \frac{4}{9} \div \frac{\boxed{3}}{\boxed{7}} = \frac{28}{27}$$

たしかめ（わる数を逆数にしてかける）

$$\frac{5 \times 7}{8 \times 4} = \frac{35}{32} \quad \text{答えと同じ} \quad \text{わる数の逆数} \rightarrow \frac{\boxed{7}}{\boxed{4}}$$

たしかめ（わる数を逆数にしてかける）

$$\frac{4 \times 7}{9 \times 3} = \frac{28}{27} \quad \text{答えと同じ} \quad \text{わる数の逆数} \rightarrow \frac{\boxed{7}}{\boxed{3}}$$

B わられる数とわる数に□。逆数にしてから、分子どうし・分母どうし

$$B1 \quad \frac{\boxed{5}}{6} \div \frac{\boxed{2}}{5} = \frac{25}{12}$$

$$B2 \quad \frac{4}{\boxed{5}} \div \frac{5}{\boxed{9}} = \frac{36}{25}$$

たしかめ（わる数を逆数にしてかける）

$$\frac{5}{6} \times \frac{5}{2} = \frac{5 \times 5}{6 \times 2} = \frac{25}{12} \quad \text{答えと同じ}$$

たしかめ（わる数を逆数にしてかける）

$$\frac{4}{5} \times \frac{9}{5} = \frac{4 \times 9}{5 \times 5} = \frac{36}{25} \quad \text{答えと同じ}$$

C 答えとわる数に□。逆数にしてかけると、答えの□はかけ算で決まる

$$C1 \quad \frac{2}{7} \div \frac{\boxed{3}}{4} = \frac{\boxed{8}}{21}$$

$$C2 \quad \frac{2}{3} \div \frac{3}{\boxed{8}} = \frac{16}{\boxed{9}}$$

たしかめ（わる数を逆数にしてかける）

$$\frac{2}{7} \times \frac{4}{3} = \frac{2 \times 4}{7 \times 3} = \frac{8}{21} \quad \text{答えと同じ}$$

たしかめ（わる数を逆数にしてかける）

$$\frac{2}{3} \times \frac{8}{3} = \frac{2 \times 8}{3 \times 3} = \frac{16}{9} \quad \text{答えと同じ}$$

虫食い算（帯分数のかけ算）④【こたえ】

小6／帯分数を仮分数に直して□を決める6もん

なまえ _____

ひづけ _____

丸つけのめやす・声かけ

□が全部合っていれば正解。たしかめのらんは書かなくてもよい。

A（仮分数の分子を分母でわった商が□）：A1 9分の20→2あまり2・A2 8分の31→3あまり7。

B（商が整数の部分、あまりが分子）：B1 7分の19→2あまり5・B2 4分の19→4あまり3。

C（かける数＝答え÷帯分数）：C1 9分の4・C2 9分の7。

整数の部分をもそのままにして分数の部分だけかけると、6問とも合わない。

止まっていたら「答えも帯分数も、まず仮分数に直してみよう」と声をかけてください。

帯分数を仮分数に直してから□を考えよう。整数の部分の□も、仮分数の分子から決まるよ。

A 整数の部分が□。仮分数の分子から決まる

$$A1 \quad \boxed{2} \frac{2}{9} \times \frac{5}{8} = 1 \frac{7}{18}$$

$$A2 \quad \boxed{3} \frac{7}{8} \times \frac{2}{5} = 1 \frac{11}{20}$$

たしかめ（帯分数を仮分数に直してかける）

$$\frac{20}{9} \times \frac{5}{8} = \frac{100}{72} = \frac{25}{18} = 1 \frac{7}{18} \quad \text{答えと同じ}$$

たしかめ（帯分数を仮分数に直してかける）

$$\frac{31}{8} \times \frac{2}{5} = \frac{62}{40} = \frac{31}{20} = 1 \frac{11}{20} \quad \text{答えと同じ}$$

B 整数の部分と分子が□。仮分数の分子を分母でわった商とあまり

$$B1 \quad \boxed{2} \frac{\boxed{5}}{7} \times \frac{2}{3} = 1 \frac{17}{21}$$

$$B2 \quad \boxed{4} \frac{\boxed{3}}{4} \times \frac{5}{6} = 3 \frac{23}{24}$$

たしかめ（帯分数を仮分数に直してかける）

$$\frac{19}{7} \times \frac{2}{3} = \frac{38}{21} = 1 \frac{17}{21} \quad \text{答えと同じ}$$

たしかめ（帯分数を仮分数に直してかける）

$$\frac{19}{4} \times \frac{5}{6} = \frac{95}{24} = 3 \frac{23}{24} \quad \text{答えと同じ}$$

C かける数に□。答え÷帯分数（仮分数に直す）でもどす

$$C1 \quad 2 \frac{3}{8} \times \frac{\boxed{4}}{9} = 1 \frac{1}{18}$$

$$C2 \quad 3 \frac{3}{5} \times \frac{7}{\boxed{9}} = 2 \frac{4}{5}$$

たしかめ（帯分数を仮分数に直してかける）

$$\frac{19}{8} \times \frac{4}{9} = \frac{76}{72} = \frac{19}{18} = 1 \frac{1}{18} \quad \text{答えと同じ}$$

たしかめ（帯分数を仮分数に直してかける）

$$\frac{18}{5} \times \frac{7}{9} = \frac{126}{45} = \frac{14}{5} = 2 \frac{4}{5} \quad \text{答えと同じ}$$

虫食い算（かけ算・わり算）⑤しあげ【こたえ】

なまえ _____

小6／かけ算・わり算をまぜた6もん

ひづけ _____

- きまり**
- ・□には1～9の数が1つ入る
 - ・式の中の分数は、約分できない真分数（帯分数は分数の部分）
 - ・答えは約分した分数（帯分数の式の答えは帯分数）

かけ算・わり算がまざっています。どの□から決められるかを自分でさがしてから書こう。

$$1 \quad \frac{7}{9} \div \frac{\boxed{4}}{\boxed{5}} = \frac{35}{36}$$

$$2 \quad \frac{2}{5} \times \frac{2}{\boxed{7}} = \frac{\boxed{4}}{35}$$

たしかめ（□に入れた数で計算する）

$$\frac{7}{9} \times \frac{5}{4} = \frac{7 \times 5}{9 \times 4} = \frac{35}{36} \quad \text{答えと同じ}$$

たしかめ（□に入れた数で計算する）

$$\frac{2 \times 2}{5 \times 7} = \frac{4}{35} \quad \text{答えと同じ}$$

$$3 \quad \boxed{2} \frac{6}{7} \times \frac{3}{5} = 1 \frac{5}{7}$$

$$4 \quad \frac{\boxed{3}}{\boxed{7}} \times \frac{4}{9} = \frac{4}{21}$$

たしかめ（□に入れた数で計算する）

$$\frac{20}{7} \times \frac{3}{5} = \frac{60}{35} = \frac{12}{7} = 1 \frac{5}{7} \quad \text{答えと同じ}$$

たしかめ（□に入れた数で計算する）

$$\frac{3 \times 4}{7 \times 9} = \frac{12}{63} = \frac{4}{21} \quad \text{答えと同じ}$$

$$5 \quad \frac{\boxed{8}}{9} \times \frac{\boxed{2}}{3} = \frac{16}{27}$$

$$6 \quad \frac{2}{9} \div \frac{\boxed{3}}{4} = \frac{\boxed{8}}{27}$$

たしかめ（□に入れた数で計算する）

$$\frac{8 \times 2}{9 \times 3} = \frac{16}{27} \quad \text{答えと同じ}$$

たしかめ（□に入れた数で計算する）

$$\frac{2}{9} \times \frac{4}{3} = \frac{2 \times 4}{9 \times 3} = \frac{8}{27} \quad \text{答えと同じ}$$

丸つけのめやす・声かけ

□が全部合っていれば正解。たしかめのらんは書かなくてもよい。

式の見分け：1・6 ÷（逆数）、2・5 ×約分なし、3 帯分数、4 ×約分あり。

5は分子の16の組（2と8）（4と4）（8と2）のうち、真分数になるのは（8と2）だけ。

2・6の答えの□はかけ算で決まる。止まったら「かけ算？わり算？」と聞いてください。